

## 船員に関する育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律施行規則の一部改正について

### 1. 背景

雇用保険法等の一部を改正する法律（平成29年法律第14号。以下「改正法」という。）により、育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律（平成3年法律第76号）の一部が改正され、育児休業の期間について、最長2歳まで延長することが可能となった。

今般、上記改正法が平成29年10月1日から施行されることに伴い、船員に関する育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律施行規則（平成3年運輸省令第36号。以下「船員育児・介護休業法施行規則」という。）について所要の改正を行うこととする。

### 2. 概要

#### （1）育児休業期間の再延長

船員育児・介護休業法施行規則第4条の2において、子の育児休業の延長（1歳→1歳6か月）する場合の申請の条件を規定しているが、今般の法改正に伴い、さらに育児休業を再延長（1歳6か月→2歳）する場合の申請の条件を規定するための改正を行う。

#### （2）その他

法改正に伴う条項ずれ等の所要の改正を行う。

### 3. スケジュール（予定）

公布：平成29年9月上旬

施行：平成29年10月1日